

平成19年度決算における 県内での財政状況ランキング

平成19年度決算における本市の財政状況が、県内ではどの程度に位置しているか、各種の財政指標、基金（市の貯金）の現在高及び地方債（市の借金）の現在高などお知らせします。

なお、上段が19年度決算（県内15市）でのランキング、下段が18年度決算におけるランキングです。

● 経常収支比率
地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。

19年度 **4位**
18年度 **7位**

本市の平成19年度決算では91・5%（臨時財政対策債を含む）でした。

● 財政力指数
地方公共団体の財政力を示す指標で、指数が「1」に近く、また、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示します。

19年度 **4位**
18年度 **4位**

本市の平成19年度決算では0・618（平成19年度単年度での指数）でした。

● 実質公債費比率
地方公共団体の借金依存度を示すもので、過去3カ年間の平均値で示す比率です。

19年度 **9位**
18年度 **10位**

この比率が18%以上の団体は、地方債の発行に県の許可が必要であり、今後の財務の見通しを示した公債費負担適正化計画を提出しなければなりません。

● 実質収支比率
地方公共団体の決算剰余または欠損の状況を標準財政規模との比較であらわしたもので、おおむね標準財政規模の3・5%程度が望ましいといわれています。

19年度 **12位**
18年度 **11位**

本市の平成19年度決算では36%でした。

● 積立基金現在高比率
標準財政規模に占める積立基金の現在高を示す比率です。

19年度 **9位**
18年度 **7位**

本市の平成19年度決算では35・6%でした。

● 地方債現在高比率
標準財政規模に占める地方債の現在高を示す比率です。

19年度 **13位**
18年度 **13位**

本市の平成19年度決算では234・2%でした。

● 補正予算
平成21年度総社市一般会計補正予算（第2号）
今回13億9900万円を追加し、予算総額は245億1070万円となりました。

主なものは新型インフルエンザ予防接種の助成などに伴う経費、希望退職の職員に係る退職手当の増額などです。

● 子どもの条例の制定について
未来を築くすべての子どもが家庭、地域から愛され、心豊かに育まれながら健やかに成長していくことを目的に、子どもの育成に関する基本理念や子どもの権利の内容を定め、まち全体で子どもの育みを支え合う仕組みを整えるため、条例を制定するもの。

この条例の内容は、目的、基本理念、子どもの権利等の内容、家庭・学校園等の役割、基本的な施策からなる全23条で構成されています。子どもにも理解できるように、平易な言葉で表現された条文としており、従来の条文とは異なる形式をとっています。



8月
定例会議会

決算関係議案を認定 厳しい財政状態続く!!

8月定例会議が8月25日から9月7日までの14日間の会期で開かれました。この議会では、報告3件、認定11件、議案16件の計30件を審査し、いずれも原案どおり可決等しました。

また、このほかに陳情3件を審査しました。

● 一般会計決算認定
決算額は、歳入244億4006万円、歳出239億5001万円、歳入から歳出を差し引いた額は4億9005万円となっています。

実質収支、実質単年度収支はともに黒字となっていますが、単年度収支は1億8054万円の赤字となっています。

● 特別会計決算認定
8特別会計の合計決算額は、歳入169億529万円、歳出161億2440万円、歳入から歳出を差し引いた額は7億8089万円となっています。

平成20年度 会計別歳出決算の状況

(単位: 百万円)

会計名	予算額	決算額	
一般会計	26,495	23,950	
特別会計	国民健康保険	5,841	5,634
	老人保健	737	582
	後期高齢者医療	583	576
	介護保険	4,042	3,981
	農業集落排水事業費	626	618
	公共下水道事業費	3,170	3,028
	国民宿舎事業費	851	824
総社駅南地区土地区画整理事業費	1,205	881	
計	17,055	16,124	
公営企業会計	水道事業	1,948	1,812
	工業用水道	54	47
	計	2,002	1,859
合計	45,552	41,934	

実質収支、実質単年度収支は黒字となっていますが、単年度収支は1億207万円の赤字となっています。

● 公営企業会計決算認定
水道では3749万円の当年度純利益、簡易水道では1417万円の当年度純損失を生じ、水道事業会計全体では2332万円の当年度純利益が生じています。

また、工業用水道事業会計では2754万円の当年度純利益が生じています。

実質収支＝歳入から歳出を差し引いた額－翌年度へ繰り越された財源

単年度収支＝当該年度の実質収支－前年度の実質収支

実質単年度収支＝単年度収支＋財政調整基金等積立額－財政調整基金等取崩額＋地方債繰上償還金

豆知識
特別会計

市が特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計と区分して経理する必要のある場合においては、特別会計を設置し、一般会計と分けて経理をすることができるとのことです。